



沓掛小学校だより

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

3月号

NO. 627

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

令和4年度に向けて

校長 鈴木 祐一

3月で新型コロナウイルス感染症による一斉休校から2年が過ぎました。当初1ヶ月程度だった休校は、3ヶ月間まで延期させることになり、学びの保障を行うために、一週間分の課題を作成し、保護者の方に取りに来ていただきました。また、週に一回は電話で連絡し、子供たちとのつながりを保てるようにしました。学校再開後は、分散登校、感染症対策をしての再開となりました。学校の行事計画を見直し、夏休みを短縮することになりました。宿泊行事は中止になり、バスを使つての日帰りの活動を行いました。また、公共交通機関を使つての全ての校外学習は中止になりました。

今年度は、一人一台のタブレットが配布されました。また、ワクチン接種も始まり、新型コロナウイルスのガイドラインにそつて教育活動も徐々に日常化することができるようになりました。5・6年の移動教室も感染対策をしながら実施、1・2年の遠足、3～6年の社会科見学では、コロナ禍のために見学先から急に受け入れができない連絡があつても、別の見学先を見つけ実施しました。今は、オミクロン株が増加し、学校に登校できない子供のために、オンラインHRやオンライン授業も実施するようになり、コロナ禍においても教育活動を実施することができるようになっています。

世の中では、「Society5.0」(超スマート社会)という言葉が使われています。1.0から順番に言えば、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会、そして「超スマート社会」です。超スマート社会とはどんな社会なのでしょう。「インターネットで全ての人とモノがつながり、新たな価値が生まれる社会」「イノベーション(技術革新)により様々なニーズに対応できる社会」「AI(人工知能)により必要な情報が必要なときに提供される社会」「ロボットや自動走行などの技術で人間の可能性が広がる社会」が考えられます。学校では、近未来の社会に子供たちが生きていくため、そして杉並教育ビジョン2022をもとに教育課程を編成し、2月15日の沓掛小学校運営協議会で承認を受けました。

来年度も子供たちの学びが主体的・対話的な学び、深い学びとなるように授業改善に取り組むとともに、これから学習の基盤となる問題の発見・解決能力、言語能力、情報活用能力を特に重視し、校内研究を軸に研修を進めていきます。これからの教育は、学校・家庭・地域がワンチームとなって進めることが望まれています。子供の成長のために、今後とも協力・連携をお願いいたします。

最後になりますが、本年度もコロナ禍の中、本校の教育活動にご理解・ご協力ありがとうございました。令和4年度もよろしくお願いいたします。

3月の生活目標「1年間の反省をしましょう」

生活指導部

早いもので、令和3年度最後の月となりました。子供たちはコロナで活動が制限される中でも、学習や行事、委員会活動等で友達と協力して頑張ることができました。自分から進んであいさつできる子が増え、元気に生活することができました。「くっつけ小 よい子やくそく」をもとに1年間を振り返り、成長したことにも目を向けさせ、希望をもって、新しい学年に進級できるように指導していきます。

<3月の予定>

月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5
		委員会 (30分間) 下校 14:00	6年生を送る会 保護者会(5・6)	保護者会(3・4)	
7	8	9	10	11	12
放送朝会 保護者会(1・2)			安全指導	避難訓練 (シェイクアウト訓練)	土曜授業 水曜時程3時間 下校 11:15
←		あいさつ週間(6年)			→
14	15	16	17	18	19
放送朝会					
21	22	23	24	25	26
春分の日		給食(終)	修了式 卒業式予行 (5・6)	卒業式(6)	春季休業日(始)

※12日の土曜授業は、感染状況を踏まえて公開するか判断し、決まり次第お知らせいたします。

*スクールカウンセラーの今月の出勤日：7日(月)、14日(月)、22日(火)

直通電話：3390-4191

令和4年度始業式は4月6日(水)です。新6年生は、4月5日(火)に入学式の前日準備があります。

研究授業1年生

生活科「もうすぐ2年生」

1月19日(水)に1年3組で校内研究授業がありました。

研究授業当日は、新1年生に伝えたいことをテーマに各自が考えたことを基にグループでアイデアを出し合ったり、まとめたりしました。

新1年生は、何を知りたいのか、自分たちが伝えたいことは難しすぎないかを考えながら、友達と話し合いました。複数人での話し合い活動は初めてでしたが、「チャイムという言葉は知らないから一つずつ教えなくてはいいね。」「跳び箱の片付け方を教えるのは時間がかかりすぎるから、マットの片付け方を教えます。」など年長さんの姿を意識して話し合うことができました。

